



市内全小中学校が、それぞれ独自の活動をCSディレクター、運営協議会の方々と進め始めています。どの学校も、子どもたち、関わる地域の方、そして先生方が、楽しみながら、やりがいをもって活動するものになったらいいですね。立ち上げたんだから「何かしないといけないんじゃないか。」といった使命感というか責任感は大切なことと思うけれど、やらされ感が高くならないようにくださいね。「どこから始めようか」「今、学校に必要なことは何か!」そこから、学校運営協議会の議題にして動き出してください。「こんなこと少し困っているんだけど、いい知恵ないかなあ」「子どもたちとこんなことやりたいんだけどどういうふうによればいいだろう」といった子どもたちのことをみんなで考え合うということ。まずは、こうして一緒に考える仲間がいるということ、その仲間で考えて、できるところからやり始める。やり始めることを焦らず、もう一度考え合ってもいいんじゃないかなあ。一緒に考え合う仲間ができたことに価値を感じて、ゆっくり効き始める薬のように…。お願いします。以下、最近の学校運営協議会の様子を紹介します。

相良中

10月27日(水) 13:30~15:30 第3回学校運営協議会

が開催されました。今回の議題のメインは、「校則の見直しについて」。相良中学校では、現在の校則を、生徒の実態、保護者の考え方、地域の状況、社会の常識、時代の進展に合致していくことを通して、生徒の規範意識を高め、主体的に社会に参画していく態度を養うことを目的として見直そうとしています。見直しは、生活安全委員会から配布された校則についてのアンケートを全生徒が実施し、集約した意見を、生徒議会で「どんな学校で、どんな生活をしたいのか」という視点を大切に検討し、生徒会要望書としてまとめられていました。変更を要望する内容には、しっかり提案が出されていました。反対に現行で良いものも多く、はっきり要望しないとといったことも書かれており、生徒たちが自分たちの生活を見つめ真剣に考え抜いた様子が文章から伝わってきました。この要望書と保護者アンケートからの意見をもとに先生方の職員会議を経て見直し案が作られ、PTA 常任委員会で協議された保護者の意見や地域の代表としての学校運営協議会メンバーの意見も参考にして、新入生一日体験入学に間に合うように進められるようです。自分たちの学校を自分たちで創ろうという姿勢を感じる生徒主体の取り組みに、学校運営協議会メンバーも納得の様子でした。



生徒会要望書

<萩間小学校学校運営協議会の皆さん傍聴>



今回、萩間小学校の運営協議会の皆さんが相良中の学校運営協議会の傍聴に来てくれていました。萩間小学校の運営協議会の皆さんは、以前、授業参観日に、『萩間小学校を卒業した子どもたちが、中学生になるとどうなっているのだろうか』と参観して下さり、子どもたちの成長にびっくりしていました。今回は、学校運営協議会の傍聴。子どもたちの成長を小学校の卒業で終わってしまわないでその後を見てくださっている。とってもいいことだなあと感じました。中学校での子ども様子が少しでもわかると、小学校での取り組みに生かせるのではないのでしょうか。もしかしたら、小中で一緒になって活動できることも出てくるかもしれませんね。ぜひ、参考にしてください。

地頭方小

10月28日(木) 14:00~15:30 第2回学校運営協議会を開催しました。最初に、子どもたちの

今を知るために、授業参観を行っていました。学校運営協議会は、授業参観の感想をスタートに、
>①学校評価の報告を受けて ②無人販売小屋とポストのデザイン ③梅ちゃん草取り隊募集の結果と活動計画
>ついて話し合われました。以前から学校菜園の野菜を地域の方々に(無人)販売していた小屋が老朽化。このことに気づいた八木CSディレクターが学校運営協議会会長に相談すると、会長経由で地域の方が早速新しい小屋を作ってくださいました。その小屋をどんな模様にしようか。みんなでアイデアを出し合いました。続いて、



校庭にある郵便ポスト。(市内のいくつかの小学校になぜかある郵便ポスト)これを子どもたちからデザインを募集して色を塗ろうという提案。わくわくしてきます。最後に、「梅ちゃん草刈り隊(校庭の整備)」の応募状況の報告。どの学校も応援隊の募集を行います。苦勞しますよね。きっと、コミュニティ・スクールが浸透していけば増えてくれると信じて! 地頭方小CSでも、地域の方が何人か手を挙げてくれたようです。(ちなみに、地頭方の私も入れていただきました。

